

今年の紅葉は、始まりの頃は色付きが良くはありませんでした。おそらく9月～10月と暖かい日が続き、気温の寒暖の差があまり無かったことが原因かと思われます。なので今年の紅葉は期待は出来ないとおりましたが、反して紅葉の期間がいつもより長く、範囲も広く結果例年以上に紅葉の景色を見ることが出来、ご来山いただいたお客様も十分に堪能されたことと思います。又、特筆すべきは、秋のお客様が年々増えてきているということで、特に今年の増え方は目を見張るものがありました。

10月23日、待望の初雪が降りました。例年より10日程遅かったですが、降雪量は多く、一の瀬で12cm、標高1300mの坊平付近まで真っ白になりました。朝方はチェーンを巻いて走る車がありましたが、12時頃にはまだ地熱が暖かいせい、道路の雪は殆ど溶けました。又ゲレンデの雪も、夕方までには日陰を除いて殆ど溶けました。

24日には暖かさも元に戻り、しばらくは温暖な日が続きましたが、ここ2・3日は寒さが平年並みとなり、朝晩は気温も0度近くまで下がり、冷え込みも一段と強くなってきております。

標高1700mから上は木々の葉も落ち、スキー場はリフトの搬機を付け、スノーマシンの設置をして、冬の訪れを待つばかり、あとひと月でスキーシーズンの到来です。

今号では、初雪の様子と葉が落ち冬へと移り変わる山の様子をお届け致します。



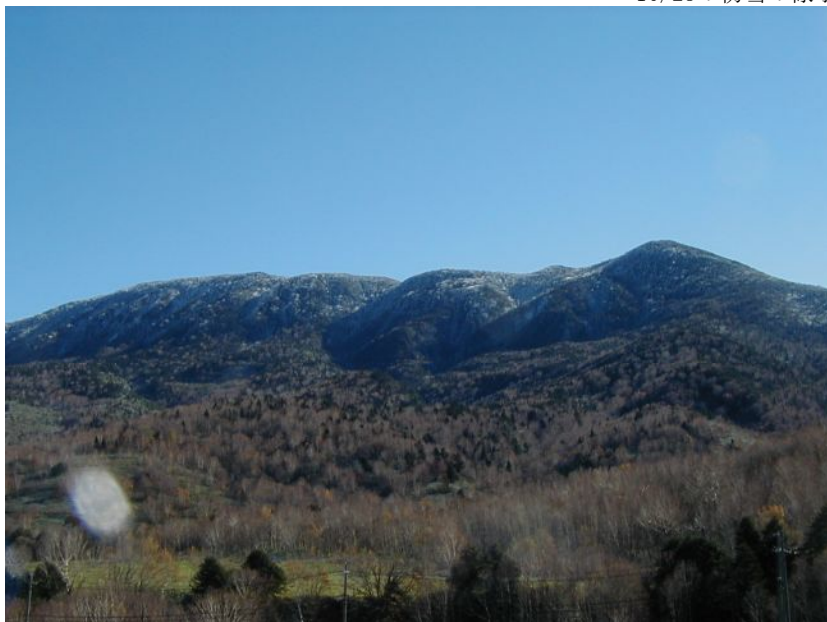
10/13快晴の白根山。中央が白根山、奥の緑の山が元白根山、その向こうの小さな三角が煙を吐く浅間山、左手奥の薄くちよこつと見える高い山が富士山。



10/23以前の旅館街と紅葉。



10/23の初雪の様子



志賀高原の山の名前の由来

坊寺山・・・僧虎関禅師が西山麓に庵を設け、潤満滝で修行されたことから坊寺山と名が付けました。

十一月一日、白い霜を被った岩菅山、志賀山と一の瀬旅館街

